

## 領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「行動・認知・神経科学の方法を用いた、人文学・社会科学の新たな展開」

◆研究テーマ:「歴史科学諸分野の連携・総合による文化進化学の構築」

研究期間:H26.10~H29.9

委託費総額:11,350千円

### <研究代表者>

井原泰雄:東京大学大学院理学研究科/講師



<専門分野>進化人類学

<Webページ>

[http://www.biol.s.u-](http://www.biol.s.u-tokyo.ac.jp/users/shinkajin/lab.html)

[tokyo.ac.jp/users/shinkajin/lab.html](http://www.biol.s.u-tokyo.ac.jp/users/shinkajin/lab.html)

### <研究目的・概要>

・文化の歴史の包括的理解という課題



人文学・社会科学・自然科学の手法や知見を総合的に動員し、ミクロレベルの個人の行動・認知からマクロレベルの文化現象の歴史的变化に関する法則性を包括的に模索する

- ・考古遺物をベースにした、集団遺伝学やネットワーク科学の手法を用いた「文化圏」の考察、
- ・各文化の先祖・子孫関係の推定
- ・文化の背後にある認知的基盤の考察、
- ・科学哲学的観点からの人文・社会科学と自然科学のあるべき関係の考察。



- ・新たな融合分野としての文化進化学の構築、
- ・文化から人間の本質に迫り、文化の価値に関する含意をも明らかにする。

### <研究計画の特徴>

- ・考古遺物を対象とした、数理解析・考古学・科学哲学の観点からの考察を総合することにより、文化の歴史の包括的理解を目標とする。



- ・人文・社会科学と自然科学の総合・連携に関するモデルケースとなりうる研究。



### <目標とする研究成果>

- (1) 日本と西アジアにおける考古遺物のデータをもとにして、それらの社会的伝達・変容過程を明らかにする。
- (2) その上で、これらの考察をもとにして、上記過程の背後にある認知的基盤や、社会変化や国家形成過程への含意を探る。
- (3) 最後に、上記考察を踏まえた上で、人文・社会科学と自然科学のあるべき関係、また文化進化学のあるべき姿を明らかにする。

